



JPI (日本計画研究所) 主催

第15505 回 JPI 特別セミナー

コーポレートPPA 環境価値取引 FIP 制度 アグリゲーション

脱炭素に向けた再生可能エネルギー 供給・調達における留意点

講師



TMI総合法律事務所 パートナー・弁護士

(敬称略)

開催日時 ▶ 2021 年 7 月 26 日(月)

슾 場 ▶ JPIカンファレンススクエア

民間参加費 ► 1 名 33.520 円 (資料代·消費税込)

午後1時30分~午後3時30分

(開場:午後1時)

(4) 認定の失効

東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル 🛣 03-5793-9761

- ◆東京メトロ日比谷線「広尾駅」3番出口 徒歩 3 分◆
- ① 中目黒方面行きにご乗車の場合は最後尾、北千住方面行きにご乗車の場合は最前車輌。
- ②3番出口を出て右手に250歩程進み、最初の信号「広尾学園前」先の赤レンガビル。 ③1階に輸入車のショールームがあり、ビルの中央に入口。

2人目以降 28,520 円 (社内または関連会社で同時お申込みの場合)

行政参加費 ▶ 国家公務員・地方自治体職員の方は、1名 16,500 円 (資料代・消費税込)。

その他 ▶◆会場受講先着 15 名様限定◆本セミナーは、会場受講、ライブ配信受講及び、アーカイブ配信受講の いずれかをご選択いただけます。参加お申込みはホームページからお願いいたします。

講義概要・項目

2050 年の脱炭素社会の実現に向けての一つの方策として、再生可能エネルギー電気を調達する動きが広がっています。欧米 においては、コーポレート PPA (Power Purchase Agreement、電力購入契約)に基づき長期にわたり再エネ電気を確保する企業 等が増えており、日本でも関心が高まっています。他方、発電側においては、2022 年 4 月施行の再エネ特措法の改正により、 従来の固定価格買取制度(FIT 制度)から、発電者が再エネ電気の市場取引を行いプレミアムを受け取る FIP 制度が導入され ます。本セミナーでは、脱炭素社会の実現に向けた動きを概説し、再エネ電気調達のためのコーポレート PPA と、これと不 可分な関連する環境価値取引について説明した上で、発電側にとって影響の大きい再エネ特措法改正、特に FIP 制度について 解説します。さらに、改正法の影響を踏まえた、新たなビジネスへの取組みとしての及びアグリゲーションとその留意点につ いて解説します。

- 1. 脱炭素社会の実現に向けての動き
- 2. 再生可能エネルギー電気の調達:コーポレート PPA
 - (1) フィジカル PPA
- (2) バーチャル PPA
- 3. 環境価値取引
- (1) 非化石証書 4. 再エネ特措法の改正
- (2) J-クレジット
- (2) 地域活用電源
- (3) 電気事業法を踏まえたコーポレート PPA
- (3) グリーン電力証書
- (3) 廃棄等費用積立 (2) 地域活用電源の自家消費、地域消費

- (1) 競争電源-FIP 制度 5. 再エネ特措法改正の影響
 - (1) 計画値同時同量、インバランスコスト
- 6. 再エネ発電事業に関わるビジネス:アグリゲーション
 - (1) 需要側のアグリゲーション
- (2) 発電側のアグリゲーション

7. 関連質疑応答

8. 名刺交換会 講師及び参加者間での名刺交換会を実施いたします。

1988 年東京大学法学部卒業、11 年の社会人生活を経て、2004 年弁護士登録、07 年より TMI 総合法律事務所勤務。 2014年1月パートナー就任。

主な業務分野は、再生可能エネルギープロジェクト、プロジェクトファイナンス等の金融全般、エネルギー関連案件等。 主な著書・論文は、「再生可能エネルギーの法と実務」(民事法研究会、2013)、「電力システム改革と再生可能エネルギー」 (Law and Technology No.62 (2014 年 1 月)、「太陽光発電 ABL の法務と実務上の留意点」(銀行実務 44 巻 7 号 (2014 年 7 月))、 「再生可能エネルギー発電事業の M&A」(電気新聞 2017 年 8 月 22 日~28 日)。

○ 参 加 費

民間参加費▶1名 33,520 円(資料代・消費税込)2人目以降 28,520 円(社内または関連会社で同時お申込みの場合) 行政参加費▶国家公務員・地方自治体職員方は、1名16.500円(資料代・消費税込)。

その他 ▶◆会場受講先着 15 名様限定◆本セミナーは、会場受講、ライブ配信受講及び、アーカイブ配信受講の いずれかをご選択いただけます。参加お申込みはホームページからお願いいたします。

【参加申込方法】

- ① 申込用紙にご記入の上、FAX (添状不要) でお送りください。ホームページ・E-mail でのお申込みも受付けております。
- ② 折返し受講証、会場地図、請求書、振込依頼書をメールで送らせていただきます。 (お申込日から3営業日過ぎても届かない場合はご連絡ください。)

【お支払い方法】

- ① 原則としてお送りした振込依頼書をご利用いただき、開催前日までにお振込みをお願いいたします。振込口座はセミナー毎に変わります。
- ② 取引銀行としてご登録の場合は、
 - 三井住友銀行 本店営業部 当座預金 NO.4254161 (株)日本計画研究所 (カブシキガイシャ ニホンケイカクケンキュウショ) でお願いいたします。(お振込みの際、セミナー番号を入れていただければ幸いです。) ※ 振込手数料はご負担願います。
- ③ ATM 等でのお振込みの場合は、お名前の前に受講証の右下整理番号(9桁)を入れてください。
- ④ 当日、会場でのお支払いはご容赦ください。
- ⑤ 「振込金受取書」にて領収証に代えさせていただきます。
- ⑥ お支払いは原則として開催前日までとなっていますが、貴社のお支払いサイクルがございましたら、お振込予定日をご記入ください。

お振込予定日(月 日)

【セミナーのキャンセルとご欠席】

- お客様のご都合でキャンセルされる場合は必ず開催1週間前 (2021年7月19日) 17時までに FAX 又は E-mail にてご連絡ください。 その後のキャンセルは、お受けいたしかねます。
- 万一、ご本人様がご欠席の場合は、1)代理の方のご参加、または 2) 当日配付の資料発送をもってご出席に代えさせていただき、 ご参加費を全額申し受けさせていただきますので、ご了承ください。

【その他ご案内】

- ① 本セミナーは、ご参加者限定の特別セミナーのため、講義の録音、録画、撮影は固くお断りいたします。
- ② 災害時緊急避難場所は、会場から徒歩 5 分「有栖川宮記念公園」です。

日本計画研究所

JAPAN PLANNING INSTITUTE

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル URL http://www.jpi.co.jp/ お問い合わせ E-mail info@jpi.co.jp ホームページ www.jpi.co.jp からのお申込みもできます

03-5793-9767 申込受付FAX

お問い合わせ

一 03-5793-9765

| | | 00000000 |
|--|---|----------|
| 2021年7月26日(月) 開催 第 15505 回 | ホームページ【www.jpi.co.jp】からのお申込みは、 | |
| 「脱炭素に向けた再生可能エネルギー電気の15505 供給・調達における留意点」 | 5 検索画面よりセミナー番号を 入力してください。 15505 検索 ☆ 選択 ・ | ⇒申込 |
| (フリガナ) | 申 込 記 入 欄 年 | 月 目 |
| 会社・ | | |
| 団体名 | | |
| 一 〒 所在地 | | |
| 電話() - | | |
| 参加者氏名(フリガナ) | | |
| | 771 (Fig. 16) 117 (Fig. 16) 117 (Fig. 16) | |

| | E-mail | |
|---|--------|--|
| | | |
| | | |
| | E-mail | |
| ■人後のもこも、めず原体性积を仲に失取けて洋とサブルもだきますので、4、川ブツ・スをご記すいただければ去いです | | |

-やご慢待情報を他に先駆けて送らせていただきますので、メールアドレスをご記入いただければ幸いです。 今後のセミナ-

■個人情報の取扱いについて (必ずお読み下さい)

ご参加のお申込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申込みをもってご同意いただいたものとみなします。http://www.jpi.co.jp/info/privacy.shtmlなお、サイトをご覧になることができない場合、または上記に関するご質問等がございましたら、以下までお問い合わせください。 〔日本計画研究所 個人情報保護窓口 東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル 電話番号 03-5793-9761 info@jpi.co.jp〕

企画開発部第一課

今回、当該セミナーにご参加されなくても、メールアドレスをご記入いただければ次回以降 E-mail でご案内いたします。 メールアドレスのみご登録のかたは右記へ▽を入れてください。